

東京大学東洋文化研究所
附属東洋学研究情報センター

平成11年度事業報告

東京大学東洋文化研究所附属東洋学研究情報センター

設 立 平成11年4月1日
所在地 〒113-0033
東京都文京区本郷7-3-1
電 話 03-5841-5839
Fax 03-5841-5898
URL <http://www.info.ioc.u-tokyo.ac.jp/>

現状と課題（平成11年度）

はじめに

東洋学研究情報センターは、東洋学文献センターに代わる東洋文化研究所の附属施設として、1999年4月1日に新設された。研究情報センターは、「アジア資料学」という研究分野を確立することを目的とし、具体的には、アジア研究のための資料を組織的に蓄積しデータベース化すること、および資料そのものの性格について研究することを任務としている。センターの研究分野は造形資料学分野と文献資料学分野とから構成され、その陣容は、造形資料学分野担当の教授・助教授各1と、文献資料学分野担当の教授・助教授各1に、それらを補佐する助手1、さらにセンター教官と協力してプロジェクトを推進する客員教授1からなる。

本年度のセンターは、旧体制から新体制への過度期にあった。センターは新たに設けられた教官ポストの選考を進め、両分野の教授ならびに造形分野の助教授が昨年4月に、また客員教授1（造形資料学分野）が昨年10月に着任した。文献分野助教授は、現在選考中である。またセンターは、旧東洋学文献センターの業務の中からデータベース作成、漢籍整理長期研修など重要なものを引き継いで実施するとともに、来年度以降に実施を予定している事業の準備を行った。準備作業としては、造形資料学分野での機器の整備、写真資料の整理、文献資料学分野での族譜資料の購入などが進められた。

平成11年度におけるおもな事業計画は、次のとおりである。

1. アジアに関する資料を蓄積・整理し、公開するための、データベース・プロジェクトの推進
2. アジアに関する資料の収集
3. センターの活動の成果を社会に還元する事業の一環としての、漢籍整理長期研修の実施

4. 東洋文化研究所のコレクションの内容をインターネットを通じて画像公開するための、アジア・デジタル展示館の構築
5. 出版活動
6. 全国文献・情報センター長会議および全国文献・情報センター人文社会科学学術情報セミナーの開催

平成12年度においても、11年度の準備を踏まえ、検討の上、諸事業を実施する方針である。

A 人員・施設

1. 教職員

研究情報センター長	教授（併任）	原 洋之介
研究情報センター主任	教授	中里 成章
	教授	宮 瀧 博史
	助教授	板倉 聖哲
	助手	鈴木 隆泰
	客員教授	深見奈緒子
業務掛	掛長	佐々木郁子
	事務官	新居 彌生
	事務官	芳賀 満子

2. 施設

現在面積

教官室……………24平方米	事務室……………64平方米
作業室……………48 "	マイクロ撮影室……24 "
倉庫……………24 "	
	計……………184 "

B 本年度実施状況

1. データベース・プロジェクト

I. 戦後日本政治・外交データベース

平成11年度は、戦後国際政治における重要文書をはじめとする現在公開済み文書の英語テキスト等、約140件の文書を追加する予定である。

II. データベース20世紀年表

今年度は、1920年代のレコードおよび1994年以降のレコード約15,000件を追加し、1930年～1993年の期間のデータについての修正・拡充を行う予定で、すでに9月に1994年のデータに限って追加・公開した。

III. アジア・太平洋諸国の対外政策形成・実行過程の比較研究

研究3年目の本年は、過去2年に引き続き、資料・聞き取り調査を通じて収集した情報・知見の記述・説明を試みる。研究最終年に当たる本年は特にまた、研究成果の発表を国内外で行い、レビューを受ける予定で、すでに田中（研究代表者）と伊豆見（研究分担者）は、中国での研究会に参加した。

IV. 近代朝鮮関係日本語図書所在データベース

予定していた各種目録からの入力作業はすべて完了し、現在、東京大学所蔵図書の情報を追加すべく、調査中である。この作業を1月を目処に完了し、最終的なデータベース公開のための作業を継続する予定である。

V. 東京大学東洋文化研究所漢籍目録データベース

今年度は第2年度。昨年度に経部・史部約15,000件を入力、今年度は子部・集部約20,000件を入力予定である。現在鋭意作業中であり、年度内には予定件数の入力を終了する。現在本所・東洋学研究情報センターのホームページで試験公開中である。

VI. 人文研・東文研漢籍目録人名索引データベース

既刊の漢籍目録4種類の人名を、漢字、ピンイン、四角号碼でネット上で検索できるデータベースを作成中。現在、16,365名の著者が検索できるが、なお数千名分の入力が必要である。人文研東洋学文献センター有志の協力成果なので、公開の方式は来年度に人文研と協議の上決定する。

VII. 倉石文庫漢籍整理

経部はデータシート作成と入力を完了し、校正中である。史部はデータシート作成を完了し、入力中である。子部はデータシート作成を完了したが、入力

及校正は未着手である。全体の半数を占める集部は未着手である。

VIII. 今堀文庫档案資料整理

平成6年～9年にかけて購入、一部寄贈で受け入れた今堀文庫図書をすべて整理し、一般利用が可能となった。雑誌・新聞切り抜き・文書等は未整理である。

IX. 現代中国書データベース

公開中のデータベース4万点に追加すべき1991年分以降の遡及入力を行っている。1991年・1992年分2000点は画面校正を終了し、1993年分のカード整理中である。また、倉石文庫の現代書をテスト入力中である。

X. Tibetan-Sanskrit構文対照電子辞書構築の基礎データ収集と整理および基礎データの応用に関する実験

データ収集と整理は、年度末までに第2章、第7章、第11章、第17章、第22章を完了し、第3章の入力を開始した。応用に関する実験では梵蔵の単語関係の対応付けの手作業を簡素化するためにTcl/Tkインターフェイスを開発するとともに、Mvyut.を用いた梵蔵対応単語の推定実験を実施した。年度末までにはMvyut.にない対応語の推定実験に着手する。

XI. 南アジア研究書データベース

洋書遡及入力計画の一環として行っていた、南アジア研究書データベース作成のための欧文図書（南アジアおよび東南アジア）の入力は今年度で終了した。

XII. ヒンドゥー儀礼基礎資料作製プロジェクト

ポスト・ヴェーダ文献が伝える聖句のコレクションはヒンドゥー儀礼の研究に重要であり、これらの聖句のコレクションをサンスクリットのアルファベット順に作製している。

XIII. ミティラー地方低カーストの儀礼の歌のデータベース作成

本プロジェクトでは採集してきたミティラー語で歌われる低カースト儀礼の歌を内容別に入力している。

XIV. 西アジア・データベース形成のための基礎的研究

研究所所蔵のアラビア語、ペルシャ語、トルコ語文献の目録データを作成し、学術情報センターに入力し得るものは入力し、利用に供した。また、本年度中に研究所所蔵のトルコ語およびオスマン語の逐次刊行物目録の刊行とデータの公開を予定している。

XV. 内蒙古出土資料の整理・データベース化

オロン・スム出土資料1297点についてデータの入力を終了した。法量の計

測と入力はおロン・スム出土資料の一部、および百霊廟凹地墳墓出土資料のみ終了した

XVI. コンピュータ・ネットワーク並びにデータベースプロジェクト

研究所全体におけるコンピュータ・ネットワークを通じた情報収集・発信やデータベース作成・公開のためのシステムの研究・開発・管理を行った。新規には、大容量の画像データを取り込み、加工、出力、蓄積するシステムを構築した。

XVII. インド・イスラム史跡データベース

現在までに東京大学デリー調査団の撮影したイスラム建築遺構の写真約20,000点を整理した。さらに、実験的データベース公開のために、400点の写真を選択しデジタル化をおこない、今年度はその400点の写真について試験的なデータベースを構築する。

XVIII. 東アジア族譜データベース

今年度購入予定の朝鮮・韓国の族譜は、現在リストの作成と現物との照合を進めている。上海図書館との族譜資料交換については11月24日に基本的合意を得た。今後先方の所蔵目録の提供を受けて、本所で必要な資料のリストを作成し、具体的な資料交換手続きに入る予定である。

XIX. 多言語文字資料画像化プロジェクト

サーバが検索結果として送信するサンスクリット文・チベット文に対して、それらに対応するデーヴァナーガリー文字・チベット文字の文字画像ファイル（白黒GIF画像）を自動的に生成させた。容量は3.6MB（2330files）。年度末までにさらに約1MB程度の自動生成が見込まれる。

XX. 造形資料データベース化プロジェクト

画像データベースの基礎となる写真資料（焼き付け及びスライド）の整理を行っており、現在『中国絵画総合図録』続編部分の焼き付けを整理している。

XXI. 建築・美術資料の構成・分析プロジェクト

画像データベースの基礎となる写真資料の書誌データの整理、並びにデータ構造の検討を行っている。現在は『中国絵画総合図録』続編部分の焼き付けを整理している。

XXII. 中国絵画デジタルアーカイブプロジェクト

画像データベース作成のための書誌データの整理を行っており、現在『中国絵画総合図録』正編部分の途中である。

XXIII. 中国近現代文学関係雑誌記事データベース

当面、中国近現代文学関連の研究誌を中心にしたデータベースとして作成す

る。既入力分は最重要雑誌の『新文学史料』であり、1988年秋から公開している。12月から『魯迅研究月間』14年分のデータを追加公開する。今後は『中国現代文学研究叢刊』『文学評論』のデータを入力する。本データベースは、関係研究界から注目を集めており、利用者も多い。これを基本にして、さらに全国の研究者のデータを吸収し、全国のあるいは国際的な文献情報センターとしての役割を果たすことができれば、多大な学術的意義を持つことになると考えている。

2. 資料収集

平成11年度の受入数は、図書32冊（和漢書）、新聞の現物13種（継続）である（受入新聞一覧については14頁を参照されたい）。今年度末までに朝鮮・韓国の族譜のコレクションを購入する予定である。また上海図書館と族譜資料交換について基本的な合意を得た。

全所蔵数は下表のとおりである。

図 書		マイクロフィルム	
和漢書	15,114冊	ネ ガ	986リール
洋 書	792冊	ポ ジ	3,522リール
計	15,906冊	計	4,508リール

3. 漢籍整理長期研修

平成11年度は6月28日～10月8日に実施し、9名が受講した（日程及び受講者名簿は12-13頁を参照されたい）。

4. アジア・デジタル展示館

開所以来東洋文化研究所が収集してきたアジア学資料のコレクション、文献資料、写真資料を中心とした様々な形の資料の内容を画像公開するものである。平成11年12月より試験的に公開を開始した。現在公開されているのは西域壁画断片と北京水売買文書で、他にインド・イスラム建築資料・族譜資料を準備中である。

5. 出版

ニューズレター『明日の東洋学』第1号～第3号を刊行する。

6. 平成11年度全国文献・情報センター人文社会科学学術情報セミナー

本年度は、「人文社会情報の現段階」をテーマとして、12月13日～12月15日に京都大学人文科学研究所で行われた。本研究情報センターは「インターネット時代の東洋学」のセッションに参加した。

7. 平成11年度全国文献・情報センター長会議

今年度は当センターが当番校で、1月28日（金）山上会館で行われた。

C 来年度

平成12年度からは、新しいセンターの事業が本格的に始まる。センターの事業の中心になるのは、アジアに関するデータベースの構築とそのインターネット公開である。データベース・プロジェクトは、造形資料については、『中国絵画総合目録』、インド・イスラーム史跡資料、および甲骨資料の画像データベース化を、文献資料については、『東洋文化研究所漢籍分類目録』と東アジア族譜資料のデータベース化を中心に推進してゆく予定である。なお積極的な事業展開を行うにはセンター校費が不足しているので、データベース化事業やアジアにおける資料調査のために科研費を申請している。

資料収集については、族譜の収集を主体にして行う。漢籍整理長期研修は来年度も実施する予定である。また平成11年度に立ち上げた「アジア・デジタル展示館」を充実させ、東洋文化研究所の所蔵品のインターネット公開を進めていく。この「展示館」を発展させ、将来、各種データベースを有機的に結合させた、造形・文献両資料にまたがる「アーカイヴ」を構築する構想である。

また、以上に続く事業の準備を進める必要がある。ダイバー・コレクション歴史関連アラビア語写本等のデータベース化の準備や、新資料の収集・整理を急がなければならない。

センターの将来計画としては、旧センター時代の東アジアを中心とした資料蓄積の遺産を継承しつつ、さらに西アジア、東南アジア、南アジアをも含んだアジア全域にわたる造形・文献資料の蓄積を行う必要がある。既に狭隘化しているセンターのスペースを、このような資料蓄積に対応しうよう、積極的に拡大してゆくことが緊急の課題となっている。さらに、研究方法や資料公開の方法の類似している東大内外の機関との間で、共同で出来るプロジェクトを作りあげ、その実施をはかることも重要な課題となっている。



東京大学東洋文化研究所東洋学文献センター叢刊既刊一覧

- 第1輯 東洋文化研究所東洋学文献センター 新収図書目録（昭和41年度）1968.
- 第2輯 清代地方劇資料集（一）1968.
- 第3輯 清代地方劇資料集（二）1968.
- 第4輯 周揚著訳論文・周揚批判文献目録 1969.
- 第5輯 郁達夫資料 1969.
- 第6輯 東洋文化研究所東洋学文献センター 新収図書目録（昭和42・43年度）1970.
- 第7輯 朝鮮研究文献目録 単行書篇（上）1970.
- 第8輯 朝鮮研究文献目録 単行書篇（中）1970.
- 第9輯 朝鮮研究文献目録 単行書篇（下）1970.
- 第10輯 李大釗文献目録 1970.
- 第11輯 明刊元雜劇西廂記目録 1970.
- 第12輯 朝鮮研究文献目録 単行書篇・編著者名索引 1970.
- 第13輯 魯迅全集注釈索引 1971.
- 第14輯 1930年代中国文芸雑誌（一）1971.
- 第15輯 朝鮮研究文献目録 論文・記事篇（1）1972.
- 第16輯 朝鮮研究文献目録 論文・記事篇（2）1972.
- 第17輯 朝鮮研究文献目録 論文・記事篇（3）1972.
- 第18輯 郁達夫資料補篇（上）1973.
- 第19輯 切韻殘卷諸本補正 1973.
- 第20輯 目録学 1973.
- 第21輯 花間集索引 1974.
- 第22輯 郁達夫資料補篇（下）1974.
- 第23輯 仁井田陞博士輯 北京工商ギルド資料集（一）1975.
- 第24輯 江西蘇区文学運動資料集 1976.
- 第25輯 仁井田陞博士輯 北京工商ギルド資料集（二）1976.
- 第26輯 民国以来人名字号別名索引 1977.
- 第27輯 自一九二七年至一九三七年 日本現存短期零本中国雑誌記事総目（一）1978.
- 第28輯 仁井田陞博士輯 北京工商ギルド資料集（三）1978.
- 第29輯 中国左翼文芸理論における翻訳・引用文献目録 1978.
- 第30輯 仁井田陞博士輯 北京工商ギルド資料集（四）1979.
- 第31輯 儀礼疏攷正（上）1979.
- 第32輯 儀礼疏攷正（下）1979.

- 第33輯 仁井田陞博士輯 北京工商ギルド資料集（五）1980.
- 第34輯 小説月報（1920-1930）総目録 1980.
- 第35輯 コミンテルン定期刊行物 中国関係論説・記事索引 1981.
- 第36輯 魯迅文言語彙索引 1981.
- 第37輯 自一九二七年至一九三七年 日本現存短期零本中国雑誌記事総目（二）1981.
- 第38輯 自一九二七年至一九三七年 日本現存短期零本中国雑誌記事総目（三）1982.
- 第39輯 仁井田陞博士輯 北京工商ギルド資料集（六）1983.
- 第40輯 東洋文化研究所所蔵 中国土地文書目録・解説（上）1983.
- 第41輯 自一九二七年至一九三七年 日本現存短期零本中国雑誌記事総目（四）1983.
- 第42輯 校合本 大越史記全書（上）1984.
- 第43輯 『植民地雑誌』（Koloniaal Tijdschrift）所収論文目録 1984.
- 第44輯 校合本 大越史記全書（中）1985.
- 第45輯 江西蘇区紅色戯劇資料集 1985.
- 第46輯 宋之間詩索引 1985.
- 第47輯 校合本 大越史記全書（下）1986.
- 第48輯 東洋文化研究所所蔵 中国土地文書目録・解説（下）1986.
- 第49輯 許舒博士所輯 廣東宗族契拋彙録（上）1987.
- 第50輯 沈佺期詩索引 1987.
- 第51輯 中華人民共和國・朝鮮民主主義人民共和國 職官歴任表 1987.
- 第52輯 韓国政治エリート研究資料 -職位と略歴- 1987.
- 第53輯 自一九二七年至一九三七年 日本現存短期零本中国雑誌記事総目（五）1988.
- 第54輯 許舒博士所輯 廣東宗族契拋彙録（下）1988.
- 第55輯 南嶽思大禪師立誓願文索引 -六朝隋唐宗教・思想資料- 1988.
- 第56輯 自一九二七年至一九三七年 日本現存短期零本中国雑誌記事総目（六）1988.
- 第57輯 郁達夫資料総目録附年譜（上）1989.
- 第58輯 自一九二七年至一九三七年 日本現存短期零本中国雑誌記事総目（七）1989.
- 第59輯 郁達夫資料総目録附年譜（下）1990.
- 第60輯 山西票号資料 書簡篇（一）1990.
- 第61輯 自一九二七年至一九三七年 日本現存短期零本中国雑誌記事総目（八）1990.
- 第62輯 自一九二七年至一九三七年 日本現存短期零本中国雑誌記事総目（九）1991.
- 第63輯 自一九二七年至一九三七年 日本現存短期零本中国雑誌記事総目収載雑誌名索引
1992.
- 第64輯 許壽裳日記（自1940年8月1日至1948年2月18日）1993.
- 第65輯 許舒博士所蔵商業及土地契約文書 乾泰隆文書（1）1995.

- 別輯1 東京大学東洋文化研究所漢籍分類目録（書名・人名索引） 合併 四角號碼檢字表 1975.
京都大学人文科学研究所漢籍分類目録（書名・人名通檢）
- 別輯2 海外所在中国絵画目録（アメリカ・カナダ編）1977.
- 別輯3 海外所在中国絵画目録（東南アジア・ヨーロッパ編）1981.
- 別輯4 日本所在中国絵画目録（寺院編）1982.
- 別輯5 LABRANG 李安宅の調査報告 1982.
- 別輯6 日本所在中国絵画目録（博物館編）1982.
- 別輯7 日本所在中国絵画目録（個人蒐集編）1983.
- 別輯8 中国経済関係雑誌記事総目録（一）－『中外経済周刊』『経済半月刊』『工商半月刊』－ 1983.
- 別輯9 孟郊詩索引（上）1984.
- 別輯10 孟郊詩索引（下）1984.
- 別輯11 中国経済関係雑誌記事総目録（二）－『国際貿易導報』－ 1985.
- 別輯12 中国経済関係雑誌記事総目録（三）－『中行月刊』－ 1985.
- 別輯13 『内務行政雑誌』所収論文・記事目録（A Catalogue of the Articles in Tijdschrift voor het Binnenlandsch Bestuur）1985.
- 別輯14 中国経済関係雑誌記事総目録（四）－『銀行週報』（上）－ 1987.
- 別輯15 春秋晋国『侯馬盟書』字体通覧－山西省出土文字資料－ 1988.
- 別輯16 中国経済関係雑誌記事総目録（五）－『銀行週報』（下）－ 1989.
- 別輯17 海外所在中国絵画目録 改訂増補版（ヨーロッパ編）1992.
- 別輯18 海外所在中国絵画目録 改訂増補版（アメリカ・カナダ編 上 本文編）1994.
- 別輯19 海外所在中国絵画目録 改訂増補版（アメリカ・カナダ編 下 索引編）1994.
- 別輯20 『販書偶記』正統編合併刊行目録 1995.
- 別輯21 海外所在中国絵画目録 改訂増補版（東アジア編）1997.
- 別輯22 日本所在中国絵画目録 続編 1998.
- 別輯23 天津史文献目録 1998.
- 別輯24 東京大学東洋文化研究所仁井田文庫漢籍目録 1999.

大型コレクション目録

Catalogue of the Arabic Manuscripts in the Daiber Collection, 1988.

Catalogue of the Arabic Manuscripts in the Daiber Collection II, 1996.

平成11年度漢籍整理長期研修 日程・課目・講師

日程	課目	9:00~ 12:00	13:00~ 17:00	講師	備考
6月28日(月)	開講式 オリエンテーショ ン			原 洋之介 (東洋学研究情報センター長) 中里成章 (東洋学研究情報センター主任)	
6月28日(月)	漢籍について	講義	講義	尾崎 康 (慶應義塾大学教授)	
6月29日(火)	集部書について	講義	講義	大塚 秀高 (埼玉大学教授)	
6月30日(水)	子部書について	講義	講義	井波 陵一 (京都大学助教授)	
7月1日(木)	経部書について	講義	講義	小島 毅 (東京大学助教授)	
7月2日(金)	史部書について	講義	講義	平 隆 郎 (東洋文化研究所教授)	
7月5日(月) ~7月7日(水)	漢籍目録整理法 (1) および演習	講義	実習	大木 康 (東京大学助教授)	実習指導補助員: 新居彌生・笠井伊里
7月8日(木)	四角號碼検字法	講義	講義	岡本サエ (東洋文化研究所教授)	
7月8日(木)	東洋文化研究所 所蔵資料について		見学		
7月9日(金)	漢籍目録整理法 (2) および演習	講義	実習	大木 康 (東京大学助教授)	実習指導補助員: 新居彌生・笠井伊里
7月12日(月)~ 9月27日(月)	所属図書館所蔵漢 籍整理及び研究	自習	自習		
9月28日(火)~ 9月29日(水)	漢籍目録整理法 (3) および演習	講義	実習	宮島 博史 (東洋文化研究所教授) 丘山 新 (東洋文化研究所教授)	実習指導補助員: 新居彌生・笠井伊里
9月29日(水)	漢籍目録データベ ースについて		講義	丘山 新 (東洋文化研究所教授)	
9月30日(木)	漢字の字形の変遷	講義	講義	持井 康孝 (金沢大学助教授)	
10月1日(金)	和刻本について	講義	講義	長澤 孝三 (国立公文書館公文書研究官)	内閣文庫見学を含む
10月4日(月)	中国書目録とデー タベース	講義	講義	宮澤 彰 (学術情報センター教授)	
10月5日(火)	漢籍補修法	講義	実習	横山 謙次 (宮内庁書陵部修補師長)	
10月6日(水)	東洋文庫について	講義	講義	中善寺 慎 (東洋文庫司書)	東洋文庫見学を含む
10月7日(木)	朝鮮本について	講義	講義	藤本 幸夫 (富山大学教授)	
10月8日(金)	新学書について	講義	講義	高見澤 鷹 (東洋文化研究所助教授)	
10月8日(金)	修了式			原 洋之介 中里成章	

*都合により課目・講師等を変更することがあります。

平成11年度漢籍整理長期研修研修員名簿

所 属 図 書 館	氏 名
宮城教育大学附属図書館	は が ひろし 芳 賀 博
東京大学法学部研究室	たかはし みつこ 高 橋 満 子
千葉大学附属図書館	あさの ゆういち 浅 野 祐 一
京都大学人文科学研究所図書室	みのべ ともこ 美濃部 朋 子
奈良教育大学附属図書館	おかもと みどり 岡 本 みどり
明治大学図書館	いづか たかこ 飯 塚 貴 子
国立国会図書館	かとう ともこ 加 藤 登茂子
国立歴史民俗博物館	たがわ ひろみ 田 川 裕 美
国文学研究資料館	ますい ゆうこ 増 井 ゆう子

受入新聞一覧

紙名	発行地	所蔵
【日本語】		
統一日報	東京	1987.1~
東洋経済日報	東京	1987.1~
中国通信	東京	1950.10~
朝鮮通信	東京	1963.4~
【中国語】		
湖南農村報	長沙	1988.11~
上海経済報（上海工業新聞より改題）	上海	1985.2~
中央日報	台北	1954.11~
中国文物報	北京	1988.1~
中国專利報	北京	1989.7~
諷刺与幽默	北京	1984.1~
明報	香港	1978.12~
【韓国語】		
中央日報（日本版）	東京	1989.11~
東亜日報（日本版）	東京	1982.11~

閱 覧 統 計

閱 覧 者 () 内外国人内数					
年度	学 内		学 外		計
	学 生	教職員等	学 生	教職員等	
H 7	1161(332)	536(124)	1051(137)	818(93)	3566(686)
H 8	1671(476)	493(126)	1262(118)	1096(55)	4522(775)
H 9	1724(592)	310(107)	1706(539)	1005(216)	4745(1454)
H10	2339(720)	465(208)	1779(280)	1366(201)	5949(1409)
H11	2296(658)	352(146)	1535(223)	1434(227)	5617(1254)

利 用 冊 数		
	図 書	雜 誌
H 7	15930	8947
H 8	17695	9877
H 9	17901	8011
H10	27749	8545
H11	34822	10423

複写件数 (電子複写)		
	学 内	学 外
H 7	1220	1472
H 8	1326	1785
H 9	1364	1652
H10	1564	1768
H11	1571	1745

開館日数	
H 7	224
H 8	226
H 9	224
H10	234
H11	235

平成10年度 東洋学文献センター 決算

予算及び決算

(単位：千円)

予算科目	当初予算	追加配分	決算額	備考
(目) 諸謝金	766	469	1,235	
(目) 職員旅費	1,631	0	1,631	
(目) 校費	12,466	87	12,553	
計	14,863	556	15,419	

決算額内訳

(単位：千円)

	内 訳	決算額	備考
(目) 諸謝金	漢籍整理講習会講師 10名	837	
	仁井田文庫漢籍目録 2名	149	
	チベット-サンスクリット		
	構文対照電子辞書関係他 2名	249	
	計	1,235	
(目) 職員旅費	漢籍整理講習会講師 9名	145	
	漢籍整理講習会研修生 6名	803	
	所在調査関係	170	
	5センター関係	513	
	計	1,631	
(目) 校費	図書費	543	
	新聞・マイクロ費	2,440	
	漢籍複本費	1,032	
	備品費	326	
	印刷費	818	
	賃金	5,864	
	消耗品	1,265	
	会議費	7	
	通信運搬費	46	
	複写費	212	
	計	12,553	